

「助けてくれ」 鉄板の下敷き、死亡

「吊り下」には、絶対、絶対……入らないこと
『逃げ場』の確保

敷き鉄板・資材の積み降し作業時
ユニック作業に注意しましょう

ワイヤー、フック、シャックルの安全点検

「助けてくれ」 同僚が駆けつけると65歳の男性が “約390キロ”の鉄板20枚の下敷きに

コンクリート製造工場で死亡事故

クレーンで吊ってあった鉄板が何らかの原因で落下

2025/8/1(金)

31日午前9時ごろ、千歳市のコンクリート製造工場で、「60代の男性が鉄板に挟まれている」と同僚から消防に通報がありました。

警察などによりますと、男性の「助けてくれ」という声に同僚が駆けつけると、クレーンで吊ってあった鉄板が何らかの原因で落下し、男性が柵と鉄板の間に挟まっていたということです。

男性は鉄板の下敷きになり胸を強く圧迫されていて、救急隊が到着した際には意識がいましたが、搬送先の病院で死亡が確認されました。

鉄板は20枚ほどで、大きさは縦90センチほど、横160センチほどでした。また、重いもので約390キロ、軽いものでも約50キロはあったということです。

男性はクレーンを使って鉄板を移動させる作業を一人でしていたとみられていて、警察が事故の原因を詳しく調べています。